

○議長（前原英石君） 1 番 小杉知弘君。

○1 番（小杉知弘君） 1 番小杉知弘です。本日は、通告どおり 2 点質問をさせていただきます。

まず、1 点目は全国大会等出場激励金について。

村民が全国大会等へ出場する際における激励金の拡充について、教育長にお伺いさせていただきます。

昨日は、舟橋中学校でユニカール大会が開催され、老若男女による熱い戦いが繰り広げられました。私自身も参加させていただき、非常に楽しめた一日でした。

そんなスポーツが盛んな本村ですが、昨年末にはキンボールのアジアカップ 3 連覇、そして今月末には、中学生が香川で開催される全国選抜中学生テニス大会に出場する予定と、世界大会や全国大会で様々なスポーツにおいて村民が活躍をしています。

さて、本村においては、そのような全国規模、世界規模の大会で活躍する選手に対して一定額の激励金を贈る内規がございます。現在のものは平成 17 年より運用されていますが、昨今の物価高騰、それから部活動を取り巻く環境の変化に合わせて、見直しの必要性を感じております。特に改善すべきものとして、次の 3 点について、教育長のお考えをお聞かせいただきたく存じます。

1 点目は、本激励金を交付する趣旨についてです。

「激励金」という名称ですので、選手を励ますことが趣旨かとは思いますが、選手が頑張って手に入れた全国の切符が、指導者や保護者の負担にならないことも大切だと感じております。

今回のテニスの全国大会は香川県で開催されます。選手の旅費だけでなく、指導者の旅費、応援に駆けつける保護者もいらっしゃると思いますし、それだけの人数の旅費となりますので、かなりの金額になると思われます。

現行の内規には趣旨の記載がございませんので、選手を激励するためなのか、それとも旅費の負担を減らす助成をするためなのか、もしくは別の目的なのか。村として、どういったお金を選手に贈るのか、お考えをお聞かせください。

2 点目は、激励金の支給額についてです。

現行は一律の支給額です。1 点目の質問にも関連しますが、激励の意味であれば、現行の一律の金額でも十分かと思いますが、助成という意味においては不十分かと思います。というのも、隣県で開催される全国大会と遠方で開催される全国大会では、選手の

負担が大きく異なるからです。

県内の市町村では確認ができませんでしたが、宮崎県日南市では、全国大会の開催地に合わせて補助額を変えているようです。私自身も学生時代は各地の大会に参加させていただきましたが、全国各地で競技できたのは、自分自身のやる気よりも、親の支えが大きかったと思います。

1点目の趣旨とともに、金額の根拠について教えていただければと思います。

3点目は、本内規の公表についてです。

こちらは質問というよりも要望になりますが、現在、村のホームページを確認したところ、本激励金に関する記載が見つけれませんでした。

昨今では、我々の知らないマイナーなスポーツやeスポーツなど、まだまだ競技人口の少ないものもありますし、部活動の地域移行も進んでまいります。また、内規を見る限り、スポーツに限らず、文化系の全国大会でも贈られるように読み取れます。

激励金の存在を知らなかったために使えなかったということが起こらないようにしていただければと思います。

以上が全国大会等出場激励金についての質問になります。

次の質問に移ります。

2点目の質問は、村内学童保育施設との連携体制及び今後の展望について、村長にお伺いさせていただきます。

昨年5月にコンペを行った学童施設の完成が間近に迫ってまいりました。さらなる村の子育て環境が充実することに期待をしておりますが、一方で物価高騰の影響もあり、学童施設の値上げも検討されていると聞いています。

学童施設は、保護者の勤務先での活躍、世帯収入の向上、小学生の心身の発達などにおいて非常に重要な施設であります。施設の運営を守りながらも、子どもを預けやすい環境を整備していくことが村の責務だと考えます。

そこで、本日は、村として値上げに対してどのようなお考えを持ち、今後の展望を考えているのか、2点お伺いさせていただきます。

1点目は、村と民間運営企業との保育料に対する協議の内容についてお伺いいたします。

ご承知のとおり、本村には2つの学童施設があります。どちらも民営でありますし、それぞれの企業のお考えもあるため、村の要望に対してどこまでの対応をしていただい

るのか分かりませんが、保護者が安心して子どもを預けられるよう、村と運営企業様の連携は必須であると思います。

それぞれの施設との保育料設定等に関する協議の状況について教えていただければと思います。

2点目は、今後の学童施設の展望についてです。

もともとは村営で1か所だった本村の学童保育ですが、民営化になったり、去年は民設民営の学童施設が村内に増えたりするなど、時代に合わせて村内の状況も変わってきております。

村内の子育て環境の充実のため、今後の展望などをお聞かせいただければと思います。

以上、村内学童保育施設との連携体制及び今後の展望についての質問になります。

私からの質問は、以上2点になります。

○議長（前原英石君） 教育長 土田 聡君。

○教育長（土田 聡君） 私から、1番小杉議員のご質問の全国大会等出場激励金について述べさせていただきます。

まず、1点目の激励金の趣旨ですが、地域における体育及び文化の振興を推進するため、各種大会等に出場する個人または団体に対して交付するものでございます。

遠征にかかる負担を軽減するという趣旨のものではございませんので、本村では、これまでのご努力の結果に対する意味合いと、今後ますますご活躍くださることを祈念しての激励金としての交付としております。

次に、2点目の支給額についてです。

先ほど議員が述べられたように、現在当村では、全国大会等出場激励金として平成17年4月1日から内規にのっとり運用しており、世界大会や全国規模の大会に出動する場合に支給しております。

金額については、小学生、中学生、高校生、一般の4つの区分けで運用しております。大まかに言いますと、世界選手権等の国際大会への出場は3万円、国体は1万円、高校総体と全国中学校体育大会は5,000円、その他の全国大会は3,000円となっております。

この激励金以外に、北信越大会以上では、激励の看板を舟橋駅前と役場正面玄関前に設置して、村民への周知を図っております。

議員お尋ねの拡充の件ですが、本年4月1日より、交付要綱を作成して、激励金とし

て運用していくこととしております。その際、高校総体、全国中学校体育大会、その他の大会とも、国体同様の1万円の支給に拡充いたします。

しかし、中学生に限っては、中学校体育連盟主催の大会、全中と言われる大会に関して、地区予選の北信越大会の出場の際に激励金はありませんが、中学校体育連盟から支給される旅費3分の1を除いた残りの旅費に対し、2分の1を支給しております。そういうふうな形で負担の軽減を図っております。

また、全国大会へ必要になった際は、先ほど説明しました激励金1万円と、旅費に関しては中学校体育連盟より2分の1が支給されますので、残り2分の1を支給しています。宿泊に関しては、中学校体育連盟より3分の1が支給されますので、残り3分の2を支給し、旅費、宿泊費とも、参加者の自己負担がないようにしております。

続いて、3点目の広報に関してのご質問ですが、現在のところ、内規での運用ということで広く周知してございませんが、先ほどお話ししました要綱を作成した段階で、ホームページへの掲載等、広く周知していきたいと考えておりますことをお伝えいたしまして、答弁とさせていただきます。

○議長（前原英石君） 村長 渡辺 光君。

○村長（渡辺 光君） 1番小杉議員のご質問にお答えをさせていただきます。

村内の学童保育施設との連携体制及び今後の展望についてのご質問だったかと思います。

1点目のご質問、現在村内に有します2か所の学童保育施設、公設民営、民営双方との利用料の協議の状況についてお答えをさせていただきます。

まずは、公設民営の事業者様との状況を回答させていただきます。

ご質問にありましたとおり、昨年末に運営事業者様より利用料金の値上げに関する案内が利用者の皆様に行われましたが、その段において、その旨の内容を当局としては認知しておりませんでした。その後、利用者の方々より相談、意見等が寄せられたため、当局と運営事業者様とで協議の場を設けました。

その際には、当局側からは、入所利用希望の締切り後のタイミングにおいて、翌年度の値上げは、時期としては不適切であるということ、一定の案内期間を設けていただきたいということと併せて、事業者の設定する利用料金の増額幅については、なかなか承服することができない旨をお伝えいたしました。その場において、利用料金の再考を要望いたしましたということになります。

しかしながら、こちらからの要望に対しては固辞されましたことを受けて、来年度予算に利用料の補助を計上させていただいたという流れでございます。

民営の事業者様においては、現在村と頻繁な情報共有等はいたしておりません。民間事業者であることや認定外であることがその理由として挙げられますが、当該施設においては令和6年度より施設の一部を認定学童保育施設として運用する旨、申請を受けております。よって、今後速やかに料金等の協議の場を設けることを進めたいと考えております。

村との連携体制につきましては、公設民営の事業者様とは連携は図っているものと感じておりましたが、今回、利用者をはじめとする関係者の皆様に対し混乱を生じさせてしまったことを鑑みると、連携体制がなされていなかったものと言わざるを得ないと反省をしております。

民営事業者様とは、今ほど申し上げたとおり、諸般の事情により連携が図られていない状況でございますので、今後は2つの施設とともに連携の推進を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、2点目のご質問になります。

今後の展望についてでございますが、舟橋村においては2040年頃まで継続して子どもたちの数は一定程度見込まれる状況でございますので、ご指摘のとおり、子育て環境は時代と村の状況によって変化すること、あわせて、国、県の考えにもありますとおり、子どもたち、その保護者の方を真ん中に据えた考えの下、今ほど申し上げました時代の変化、生活環境の変化による様々なニーズにお応えできるよう、事業の推進を図ってまいりたいと考えております。

以上を答弁とさせていただきます。

○議長（前原英石君） 小杉知弘君。

○1番（小杉知弘君） 答弁のほう、ありがとうございました。

まず、1点目の全国大会等出場激励金についてなんですけれども、少し分からなかったのでもう一度お聞かせ願いたいんですけれども、中学校体育連盟に加入している方については旅費及び参加費の負担がないように配慮されているということでお伺いしたかと思うんですけれども、これ、中学校体育連盟に未加入の競技については、今後もしくはは現状、どのように対応されているのかという点についてお伺いさせていただければと思います。

それから、学童施設についてなんですけれども、連携が不十分だったというご答弁をいただいたんですが、それに合わせての補助と予算化していただいたことに感謝しつつも、値上げというのは必ずしも悪いことばかりではなくて、例えばサービスの拡充ですとか、給食が村内産の野菜とかお米になるよとかということであれば、村の方針としてやっていくのであれば、値上げというのもサービスの拡充という意味、もしくは村の特色を出すという意味では非常に重要なのかなと思いますので、必ずしも値下げばかりではなく、そういった、新しいというか、舟橋村らしい子育て環境というものを構築していくためにも、金額、それから学童保育の企業様との連携を強化していただきたいなと思います。

また、先ほどご答弁にもありましたが、2040年まで人口が増えていく中で、子育て環境は常に変化していくものだと思います。定期的な連携、それから見直し等を行っていただければと思います。

以上です。

○議長（前原英石君） 教育長 土田 聡君。

○教育長（土田 聡君） それでは、小杉議員のご質問にお答えしたいと思います。

中体連未加入のクラブに関してなんですけど、現在のところ、中学校の部活動という形の加盟に関しては補助のほうを出しているということになっております。

中体連のほうには、それぞれのクラブ化されているところも申請をして、中体連に加盟することができるようになっておりますので、今後、他のクラブに入っているお子さんに関しても、そのようなことは対応できるというふうに思います。

あと、文化系の話になるかと思いますが、こちらのほうは、ちょっと今現在のところ私のほうで調べておりませんので、今後調べまして、また委員会のほうでお伝えしたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（前原英石君） 村長 渡辺 光君。

○村長（渡辺 光君） 今ほどの1番小杉議員の追加質問に答弁をさせていただきます。

値上げに関しまして、悪いものではないという旨のご発言をいただきました。今回の学童保育施設の値上げに関しましては、どのような要素で値上げがなされたか、その詳細までは、聞き取りは、お恥ずかしながら、できておりません。

私、個人的な感想としては、いわゆるコストプッシュによる値上げを判断されたので

はなかろうかというふうには思っておりますが、利用者にとっては、値上げは値上げで変わらないということでございますので、今ほどご指摘いただきましたとおり、この値上げと同時にサービス内容の拡充等を、こちらからは要望を進めてまいりたいというふうに考えております。

補助を出すということに関しましても、一定のそういったご理解をいただきたいという思いもございますので、今後、先ほどの答弁でお答えさせていただきましたとおり、まずは連携の部分を中心に推進を図って、その上で今ほど申し上げた村の特色をいかに出していけるかというところも同時に、施設側と協議を図っていきたいというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。